

綾瀬市農業委員応募申込書

記載例

令和8年1月30日提出

私は、綾瀬市農業委員として下記のとおり応募します。

1 応募者

ふりがな	あやせ たろう		性別	男・女	
氏名	綾瀬 太郎		生年月日	昭和XX年XX月XX日(55歳)	
住所	〒252-1123 綾瀬市早川〇〇〇番地		電話番号	0467-77-XXXX	
職業	農業	勤務先	無し		
農業経営の有無	有 無 ※ある場合、以下に記入してください				
農業経営 の状況	経営耕作地及び面積	農業従事者数	年間延べ従事日数	年間農業所得	
	耕作地（綾瀬市）	男 1 人	300/1 日/人	500万円	
	田 0 m ²	女 1 人	240/1 日/人		
	畑 4,955 m ²	主な作目及び販路等（該当に○）			
	樹園地 0 m ²	水稲・麦作・露地野菜 施設野菜 果樹・花卉・温室花卉			
計 4,955 m ²	その他（ ）・販路（JA共同販売）				
認定農業者該当の有無	有・無		農地最適化推進委員の応募	有・無	

2 応募の理由

※自身の経歴と応募に至った経緯、綾瀬の農業に対する考え方などを記載してください。

(例-1)
人・農地プランの農業政策が重要視されている。ところが近年特に農業離れが多く、荒廃地、遊休農地は増加の傾向が加速されている。そんな中少しでも荒廃地、遊休農地を無くし田園環境と、農地の保全を大切に考え応募しました。
(例-2)
中立な立場として、綾瀬市の基幹産業である農業の活性化・発展に貢献したく応募しました。

記載しきれない場合裏面を使用してください。

2 応募の理由（続き）

（例－３）

私は今まで農業の経験もあり、また、地域の状況も把握しており、その経験を活かして綾瀬市の農業振興の活性化・発展に貢献できればとの思いがあることから、農業委員を応募しました。

（例－４）

長年農業に携わってきましたが、近年の農業の担い手の高齢化、担い手不足を日々感じています。こうした流れを少しでも食い止め、農業への新規参入の促進や、農地の保全に少しでも貢献できればと考え応募しました。